



茜館(旧陸軍通信学校将校集会所)
※相模原市登録有形文化財(建造物)

2019年度 秋季さがみアカデミー

相模女子大学・相模女子大学短期大学部

講座1 歴史の“なぜ”を考える! ~明治から戦国へ遡る~

【担当講師プロフィール】 名和田 竜 / 相模女子大学非常勤講師

NPO ランチェスター協会常務理事、ランチェスター戦略学会役員。広告代理店の営業・プランナーとして大手メーカー等の企画を手掛けた後、コンサルタントとして独立。中小零細企業に対するコンサルティング及び研修講師をはじめ、執筆・講演など幅広く活躍中。

【講座概要】 現在の日本は、どの様にできあがっていったのか? 当たり前ですが、歴史というものは全て繋がっています。したがって、歴史を紐解いていけば「なぜ、その時それが起きたのか?」という要因が見えてきます。本講座では、明治・幕末・戦国の幾つかの争乱にスポットを当て、歴史を遡りながら、その背景を多面的に見ていくことで理解を深めていただきたいと思います。“楽しく学ぶ!”をテーマとしていますので、歴史が好きな人、興味がある人であれば、どなたでも気軽にご受講いただけます。

【講座日程・講座内容】

9月25日	「なぜ、日清・日露戦争は起きたのか?」 ※明治政府とは何だったのか?	11月20日	「なぜ、徳川幕府は260年も続いたのか?」 ※江戸・徳川幕府とは何だったのか?
10月9日	「なぜ、西南戦争・戊辰戦争は起きたのか?」 ※明治維新とは何だったのか?	12月4日	「なぜ、豊臣家は滅びたのか?」 ※天下人・秀吉とは何だったのか?
10月23日	「なぜ、龍馬は暗殺されたのか?」 ※龍馬とは何だったのか?	12月11日	「なぜ、関ヶ原の合戦は勃発したのか?」 ※天下分け目の合戦とは何だったのか?
11月6日	「なぜ、列強は開国を迫ったのか?」 ※鎖国とは何だったのか?	12月18日	「なぜ、明智光秀は信長を討ったのか?」 ※信長とは何だったのか?

【曜日・時間】 隔週水曜日 15:30~17:00 【定員】 40名 【会場】 相模女子大学 茜館催事場

【受講料】 全8回 8,000円 【申込締切日】 8月28日(水) 【持ち物】 筆記用具

講座2 古事記と日本書紀の思想

【担当講師プロフィール】 呉 哲男 / 相模女子大学名誉教授

文学修士。古代日本文学専攻。『古代文学における思想的課題』、『古代言語探究』その他著書多数。

【講座概要】 来年2020年は、日本書紀成立の1300周年を迎えます。歴代天皇を中心として似たような歴史を叙述する古事記・日本書紀は、なぜことさら同時期に成立したのでしょうか。二書の特質を際立たせることで、この疑問に答えたいと思います。

【講座日程・講座内容】

9月24日	漢文体(紀)と倭文体(記)	10月8日	国譲り神話と贈与霊の行方
10月1日	黄泉の国神話と殯宮儀礼		

【曜日・時間】 火曜日 10:40~12:10 【定員】 60名 【会場】 相模女子大学 茜館催事場

【受講料】 全3回 3,000円 【申込締切日】 9月10日(火)

【持ち物】 倉野憲司『古事記』(岩波文庫)(2007年12月改版以降のもの)

講座3 東国武士の勃興

【担当講師プロフィール】 犬飼 智 / 相模女子大学非常勤講師

東京大学文学部卒、同大学院単位取得退学。文学修士、日本中世史専攻。共著『中世の村落と流通』（吉川弘文館）等
 【講座概要】 ここでの「東国」とは関東地方を中心に甲信東海あたりを意味します。東国では武士が勃興し鎌倉幕府を作り上げます。その東国武士勃興の過程を古代から平治の乱まで辿ることが本講座のテーマです。昨年までの講座では、源頼朝から北条氏直まで相模を中心に活躍してきた武将をテーマとして取り上げてきましたが、本年はその前史を扱うこととなります。これまでのように毎回年表・史料（現代語訳付き）などが掲載されたプリントを配布いたします。

【講座日程・講座内容】 ※10月18日を除く

9月20日	防人の歌：東国は、古代から精強な兵士で知られていました。律令国家が唐・新羅を防ぐために北九州に置いた防人は東国出身者で構成されていました。	11月1日	後三年の役：11世紀末、源義家は、前九年の役で協力した清原氏の内紛に介入して、激しい戦いの末勝利します。朝廷は力を強めた義家への警戒を強めます。
9月27日	貞観震災：9世紀後半の貞観時代には、富士山噴火や巨大津波などが東国を襲いました。東国の治安は乱れ、武力がものをいうようになります。	11月8日	源氏一族の争い：義家は弟たちと仲が悪く、義家の死後源氏一族の内紛は激化します。その間隙について伊勢平氏が勃興していきます。
10月4日	将門の乱：10世紀の東国では、桓武平氏の一族が武装して広い土地を支配していました。一族間の争いが朝廷への反乱に発展していきました。	11月15日	院政：平安末になると、天皇が皇位継承をコントロールするために、生前に譲位し譲位後も政治の実権を握り続ける院政が行われるようになります。
10月11日	平忠常の乱：11世紀初め、房総半島で反乱を起こした平忠常を源頼信が鎮圧しました。頼信の子頼義は鎌倉に館を構え東国の武士たちを従えていきます。	11月22日	保元の乱：院政によって権力の私物化が進み、武力に頼る風潮が強まります。1156年に皇位継承争いは武士を動員した戦争によって決着が付きました。
10月25日	前九年の役：11世紀半ば、奥州の豪族安倍氏が反乱を起こしました。源頼義・義家親子は、東国武士を率いて安倍氏と戦い苦闘の末に勝利しました。	11月29日	平治の乱：保元の乱の勝者の平清盛と源義朝が争います。義朝は東国の武士を率いて戦いましたが負けました。東国武士の強さと弱さを考えます。

【曜日・時間】 金曜日 13:30～15:00 【定員】 60名 【会場】 相模女子大学 茜館催事場

【受講料】 全10回 10,000円 【申込締切日】 9月6日(金)

講座4 呼吸法入門 ～実感する「体と呼吸と心」の調和～

【担当講師プロフィール】 佐藤 響子 / 相模女子大学非常勤講師

気流法（健康法・舞踊・武道・瞑想のエッセンス）師範として30年来国内およびフランス、ドイツ、オーストラリア等で身体技法を指導。舞踊家・振付家としても国内外の国際芸術祭等で活動。音楽、美術、詩等の芸術表現と共演を重ねている。

【講座概要】 呼吸は脈拍、血圧、体温、発汗と並ぶ生命維持活動の内、唯一自分の意思で調節できるものです。この講座では、「体と呼吸と心」の生き生きとした調和を目指し、呼吸の仕組みの概要（呼吸と自律神経＝交感神経と副交感神経のバランス）について説明した後、簡単な動作（腕の上げ下げや円運動）を伴う呼吸法を実践します。心を落ち着ける・集中力を高める・体の緊張を解きリラックスできる・筋肉の弾力が回復し代謝を活性化する等々が期待されます。

【講座日程・講座内容】

9月26日	息を感じる／呼吸と自律神経の仕組みを知って日々の呼吸に活かす。	10月10日	息を深くする螺旋の動き／座ってもできる技法を紹介。
10月3日	息に則る／あうんの呼吸、息を飲む…呼吸（息）と生きることは密着している。		

【曜日・時間】 木曜日 15:30～16:30 【定員】 30名 【会場】 相模女子大学 茜館催事場（予定）

【受講料】 全3回 3,000円 【申込締切日】 9月12日(木)

【持ち物】 かかとの高い靴は避けて運動靴など動きやすい靴を着用ください。

講座5 フランスの作家マルグリット・デュラス ～戦争と愛～

【担当講師プロフィール】

坂本 佳子 / 相模女子大学学芸学部メディア情報学科教授 専門は地域文化研究、表象文化論研究。

小林 開 / プロデューサー 映画『ひろしま』の保存と上映を行う。祖父の小林大平氏は『ひろしま』の監督補佐を務めた。

【講座概要】 フランスの作家マルグリット・デュラス（1914-1996）の作品『苦悩』をもとにした映画『あなたはまだ帰ってこない』が、今年の2月に日本でも公開されました。当講座では、映画の終盤で戦争の惨禍に力尽きたかのような愛の過去と未来を、テキストや手稿をもとにたどりなおしながら、デュラスの文学の謎に迫ります。また、第3回には、映画『二十四時間の情事』（1959年。日仏合作、アラン・レネ監督、マルグリット・デュラス脚本）に挿入された『ひろしま』（1953年。関川秀雄監督）を鑑賞。デュラスの文学に思いがけぬ力をもたらした『ひろしま』について、この映画ゆかりのプロデューサー、小林開氏にお話をうかがいます。

【講座日程】

10月5日	マルグリット・デュラス 沈黙する文学	10月26日	『二十四時間の情事』と『ひろしま』 —映画『ひろしま』を見る—
10月12日	あなたが帰ってきたあとに —戦争と愛—		

【曜日・時間】 土曜日 10:00～11:30（10月26日のみ 10:00～13:00） 【定員】 30名

【会場】 相模女子大学 11号館 1113教室 【受講料】 全3回 4,000円 【申込締切日】 9月20日（金）

講座6 初期万葉の歌人と作品

【担当講師プロフィール】 青柳 まや / 二松學舎大学文学部国文学科非常勤講師

文学博士。専門分野：古代文学。『古代日本文学が物語る婚姻・出生伝承』（花鳥社）を2019年中刊行予定。

【講座概要】 『万葉集』の作品の詠作年代は、仁徳天皇の時代から8世紀中頃までの約450年間にわたっています。このうち、壬申の乱（627年）までの時期を初期万葉と呼びます。『万葉集』時代の夜明けともいえる初期万葉の作者には、雄略天皇や磐姫皇后、聖徳太子など、『古事記』や『日本書紀』に名を現わす人物も多くいます。この講座では、初期万葉の作者と作品について、他の古代文学における用例を合わせ見ながら、丁寧に読み解いていきます。

【講座日程・講座内容】

10月29日	『万葉集』概説・雄略天皇の歌（巻第1・1番歌）	11月19日	藤原鎌足の歌（巻2・94～95番歌）・采女と美醜
11月5日	磐姫皇后の歌（巻第2・85～88番歌）・磐姫伝承	11月26日	中皇命の歌（巻第1・3～4番歌）・古代における「乳」の力
11月12日	聖徳太子の歌（巻3・415番歌）・聖徳太子伝承		

【曜日・時間】 火曜日 13:00～14:30 【定員】 60名 【会場】 相模女子大学 茜館催事場

【持ち物】 毎回プリントを配布しますが、『万葉集』全歌が収められたテキストがお手元にある場合は、ご持参いただくと便利です。

【受講料】 全5回 5,000円 【申込締切日】 10月15日（火）



講座7 ホロコーストのトラウマの世代間伝達 ～ユダヤ世界と「わたしたち」～

【担当講師プロフィール】 荻本 快 / 相模女子大学学芸学部子ども教育学科准教授

専門：臨床心理学、発達心理学、力動的心理療法、集団療法。論文に、『日本の被爆トラウマの世代間伝達—否認・依存・断絶—』（国際基督教大学学報教育研究 59号、2017年）など。相模女子大学子育て支援センターにて心理相談・サポートグループを実施。

【講座概要】 ホロコーストを生き残ったユダヤ人達が負った、トラウマに関する記録（手記）を読み、トラウマと罪悪感がいかに子孫に伝達していくのか、心理学の基礎知識を用いながら解説し、学んでいく。今回は、イタリア系ユダヤ人作家であるプリモ・レーヴィに焦点を当て、彼の代表的な著作である『これが人間か』を読んでいき、3回目には日本における事例の考察も試み、R. リフトン『ヒロシマを生き抜く』、金時鐘『クレメンタインの歌』、S. イナ博士が取り組む米国日系人収容所の問題を取り上げる。

【講座日程・講座内容】

10月30日	プリモ・レーヴィ：トラウマについて	11月13日	R. リフトン、金時鐘、S. イナ：日本における事例
11月6日	プリモ・レーヴィ：同一化について		

【曜日・時間】 水曜日 13:00～14:30 【定員】 50名 【会場】 相模女子大学 茜館催事場

【受講料】 全3回 3,000円 【申込締切日】 10月16日(水)

講座8 言葉の違いは文化の違い ～韓国語から見る韓国文化～

【担当講師プロフィール】 申 明浩(シン ミョンホウ) / 相模女子大学非常勤講師

武蔵野美術大学芸術文化学科講師。同大学大学院造形研究科修士、東京大学大学院総合文化研究科表象文化論専攻博士課程単位修得満期退学。専門は絵本論、韓国語、表象文化論。著書『絵本の世界』（韓国、1994）、訳書『絵本は小さな美術館』（中川素子著の韓国語版）、『コリア驚いた！韓国から見た日本』（朝日出版社、2002）など。日本ではバリアフリー絵本や障がい者と絵本をテーマに研究・執筆を、また韓国では専門家向け絵本講座などを行っている。

【講座概要】 韓国語の基礎会話に焦点を当てて、言葉の違いから見える文化の違いを紹介します。日本語でも、よく耳にするのに使い方が難しいと思う言葉に出会うのは、各々の土地の文化や常識が異なるためと考えられます。同じく、韓国人が日本語を話す時にも違和感を覚えることがあります。日本語にまつわる常識や文化の違いが判らないまま言葉を使って誤解を招いたり、一方で考え方が似ている故に小さな違いも気になってしまうこともあります。この講座で、言葉の背景にある文化の違いを考えてみましょう。韓国に限らずさまざまな国の人たちとのより深い交流・理解につながることをお伝えできればと思っています。

【講座日程・講座内容】

10月30日	1) 挨拶から見える文化 「アンニョンハセヨ」（こんにちは）は時間も立場も関係なく使える。「サヨウナラ」も同じである。何が違う？
11月6日	2) 主食は同じお米 「オソドゥッセヨ」（召し上がれ）と「いただきます」から見えるのは、食文化の違いだけではありません。
11月13日	3) 招待するのはなぜ？ 韓国では親しくなるため、日本は親しいことを確認するため。では「上座」ってあるの？
11月20日	4) 美意識の違い 美の管理は対人関係の基本。では、その基準は？韓国は磨いて作るもの、日本はありのままを守るもの。

【曜日・時間】 水曜日 10:30～12:00 【定員】 30名 【会場】 相模女子大学 茜館催事場

【受講料】 全4回 4,000円 【申込締切日】 10月16日(水)



講座9 能楽入門

【担当講師プロフィール】 藪 克徳 / 相模女子大学非常勤講師 宝生流能楽師。

【講座概要】 能「春日龍神」「東北」「鐘馗」を題材に取り上げ、能にまつわる色々なお話をさせていただきます。

【講座日程・講座内容】

11月11日	能舞台の説明／面・能装束の紹介	12月9日	能の演出
11月25日	能の台詞「謡」、能の動き「型」、能の楽器「お囃子」		

【曜日・時間】 月曜日 13:30～15:00 【定員】 60名 【会場】 相模女子大学 茜館催事場

【受講料】 全3回 3,000円 【申込締切日】 10月28日(月)

講座10 比較文化入門 ～映画・CM・歌詞等に見られる言語表現を通して～

【担当講師プロフィール】 小笠原 藤子 / 相模女子大学非常勤講師

上智大学大学院文学研究科博士前期課程修了。文学修士。

専門分野：ドイツ語教授法、ドイツ語基本語彙他。著書：『ドイツ語基本単語』（共著）『Supergut!』（共著）他。

【講座概要】 第1回目は、主にドイツ語と日本語、第2回目は、主に韓国語と日本語の言語表現を扱います。文化の相違点を言語表現と共に映像を通して探り、理解を深めます。受講者による外国語の知識は全く問いませんが、グループワークを行いたいと思いますので、楽しく参加いただければと思います。

【講座日程・講座内容】

12月6日	-挨拶の表現を通して見えるもの -ジブリ映画から見える日本語と異なるドイツ語の表現方法 -ドイツと日本のCMから見えて来る文化の違い
12月13日	-各国に訳されている歌詞（英語、韓国語、日本語）等の表現方法に垣間見る感情表現の違い -LINE等のチャット（ドイツ語、韓国語、日本語）での表現方法から見える国民性、文化の違い

【曜日・時間】 金曜日 13:00～14:30 【定員】 20名 【会場】 相模女子大学 English Room

【受講料】 全2回 2,000円 【申込締切日】 11月22日(金) 【持ち物】 筆記用具

講座11 ドイツ・ロマン派のメルヘン

【担当講師プロフィール】 田畑 雅英 / 相模女子大学学芸学部メディア情報学科教授

専門はメディア文化学、ヨーロッパ文化学。音楽劇、映画、文学など、主としてフィクションやドラマと文化に関わる様々な表現メディアを研究対象としている。著書に『小説のナラトロジー -主題と変奏-』（共著）、訳書に『ドイツ運命劇集』（共訳）等。

【講座概要】 広く知られたグリム童話は伝承民話を集成したものです。グリム兄弟と同時代に活動したドイツ・ロマン派の作家たちは、伝承民話を模したメルヘン（民話風の物語）を重要な創作ジャンルとし、数多くの魅力的な作品を生み出しました。それらの中から、この講座では、『ルーネンベルク』『砂男』『ウンディーネ』の3作品を取り上げ、それぞれに異なる特徴を持つこれらの作品を読み解いて、ロマン派のメルヘンに親しんでいただく手がかりを提供したいと思います。※初心者の方々を対象としますので、予備知識は必要ありません。

【講座日程・講座内容】

2020年3月3日	ティーク『ルーネンベルク』	3月17日	フケー『ウンディーネ』
3月10日	ホフマン『砂男』		

【曜日・時間】 火曜日 14:00～15:30 【定員】 60名 【会場】 相模女子大学 マーガレット本館4階2141教室
【受講料】 全3回 3,000円 【申込締切日】 2020年2月18日(火)

講座12 若者のための「学び」を楽しむセミナー

【コーディネーター・司会】

日戸由刈 / 相模女子大学人間社会学部人間心理学科教授

川口信雄 / 株式会社ゆたかカレッジ顧問

【講座概要】「学校になじめない」「集団行動が苦手」「毎日がいまひとつ充実しない…」など、ふだんの生活をつまらなく感じている若者がターゲットです。毎回マニアックな講師を招き、多彩なテーマに触れることで、自分の興味や視野を広げ、人生の楽しみ方を知る機会を提供します。「遊び心の大切さ」や「学ぶ楽しさ」、そして「得意分野で力を発揮する充実感」を体感してみませんか。

※本企画は90分間の講座です。対象は中学生以上ですが、内容に興味があれば小学生でも楽しめます。

【講座日程・講座内容】

日程	番号	タイトル（講師）・内容	申込期間
9月 21日	①	<u>「生き物大好き！ 私のペット遍歴」</u> （杉山 明／横浜市立市ヶ尾小学校校長） すばらしき哉（かな）、生き物！ 熱帯魚に始まり爬虫類に至った、講師の“生き物大好き！”話を枕に、参加者同士で爬虫類の魅力や生き物に対する思いを語りあい、共有しましょう！	8月15日 ～9月11日
10月 26日	②	<u>「もうすぐ必修化 プログラミングを楽しく学ぼう」</u> （岡田克己／横浜市立仏向小学校教諭） 子どもから大人までやりこむことができるプログラミング言語「ピスケット」で、オリジナルゲーム作りを体験！ プログラミングで人とのかかわりが深まり、社会の役にも立てちゃうかも！？	8月26日 ～10月16日
11月 16日	③	<u>「秘伝！ コレクション整理・活用術」</u> （近藤幸男／横浜市立鴨志田中学校主幹教諭） 自分では管理しきれないほどの数になった特撮フィギュアコレクション…キミの部屋にもあったりしませんか？ 3.11以降考えるとこがあり、整理・活用を決行した極意を伝授します！	9月16日 ～11月6日
12月 21日	④	<u>「鉄道を見るマニアの目・プロの目」</u> （湧口清隆／相模女子大学教授） 鉄道マニアとして、「こんなサービスがあれば…」とすることがありますね。しかしそれが実現しない背景には、プロの異なる見方があるのです。マニアとプロの見方の違いを考えてみましょうか？	10月21日 ～12月11日
2020年 2月 1日	⑤	<u>「感情を生み出す“脳の不思議”</u> 」（米田英嗣／青山学院大学准教授） どうして腹が立つの？ 不安をうまくコントロールするには？ 自分と他の人の感じ方は違うみたい…感情にまつわる様々な疑問を、脳科学で解明！ 知らなかった自分が発見できるかも…☆	12月1日 ～2020年 1月21日
2月 29日	⑥	<u>「宇宙人類学講座—MESOPOTAMIA—」</u> （綿貫愛子／NPO 法人東京都自閉症協会役員） メソポタミア文明の楔形文字は世界最古の文字であり、円筒印章は世界最古のハンコです。その楔形文字と円筒印章を使って粘土板文書づくりにトライ！ 宇宙とのつながりも見えてくる！？	2020年 1月9日 ～2月19日

【曜日・時間】 いずれも土曜日 14:00～15:30 【定員】 各回20名程度

【会場】 相模女子大学 夢をかなえるセンター1階 English Room ※9月21日のみ 4階ガーデンホール

【受講料】 1回当たり学生500円、学生以外の18歳～29歳500円、30歳以上1000円

※障害者手帳をお持ちの場合は無料

【申込と支払い方法について】

本講座は、各日程により申込期間が異なりますのでご注意ください。

お申込の際には講座番号のほかに、ご希望の日程の番号①～⑥もお知らせください。

また、本講座に限り、受講料は講座当日に会場の受付にてお支払いいただきます。





さがみアカデミー 受講のご案内



学園キャラクター さがっば・ジョー

受講資格

年齢・性別は問いません。どなたでも受講できます。

受講申込み

- 原則として、先着順受付となります。
 - **お申込みは8月15日（木）から受付けます。**「希望講座名、氏名（ふりがな）、住所、電話、携帯番号、FAX 番号、メールアドレス」を明記のうえ、Eメール、FAX、郵便、または生涯学修支援課窓口にてお申し込みください。本学学生の方は、その旨ご記入いただくか、お申し出ください。
 - 受講決定後、受講生証と受講料の振込用紙をお送りいたします。**各銀行の窓口、または ATM、ネットバンキング**により、振込用紙に記載されている**入金期限まで**にお振込みください。**生涯学修支援課窓口**にてお支払いをされる場合は、**振込用紙を必ず持参**のうえ、**入金期限まで**にお越しください。
 - 一旦納入された受講料は、当方の都合で講座を中止する場合は除いては原則返金いたしません。
 - 申込み締切り後でも定員に余裕がある場合は受講いただけることがありますので、お問い合わせください。
- ※開講 2 週間前までに最少催行人数に達しない場合は、中止となる場合があります。

個人情報の保護について

お預かりする個人情報は厳重に取り扱い、さがみアカデミーの運営以外の目的には使用しません。

受講上のお願い

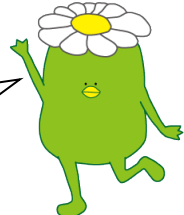
- 受講時には受講生証をご持参ください。また、お車での入構はできません。公共交通機関をご利用下さい。
- 受講料支払いの有無に関わらず、キャンセルする場合は事前にご連絡ください。

交通アクセス

小田急線相模大野駅下車 北口徒歩 10 分
* 公共交通機関をご利用ください。



梅、桜、銀杏など、自然豊かなキャンパスは、東京ドーム約4つ分の広さ！
ぜひ一度、お越しください！！



【お問い合わせ・さがみアカデミー申込み先】

*お申込みはEメール、FAXまたは郵便で！

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

相模女子大学 夢をかなえるセンター

生涯学修支援課（キャンパスマップ内の★印）

電話：042-747-9017

FAX：042-747-9599

メール：sagami-info@mail2.sagami-wu.ac.jp

○メールの場合

必要事項をメール本文に入力し、
上記メールアドレスへ送信ください。

○FAXの場合

下記の申込書に記入し、FAX:042-747-9599へ
送信ください。

○郵送の場合

右の申込書に必要事項を記入し、ハガキに
貼り付ける、もしくは封書に入れて上記まで
送付ください。

*原則としてお一人様につき一枚、受講申込書
をご利用ください。

2019年度秋季さがみアカデミー受講申込書

希望講座名 ※複数可	
(ふりがな)	
氏名	
住所	〒
電話	
携帯電話*	
FAX番号*	
Eメール*	
本学学生の方はご記入下さい (記入例：高等部2年生) _____	※担当者記入欄
さがみ学びの会の会員の方は 会員番号をご記入下さい* No. _____	
*お持ちの方のみご記入下さい。	

【FAX用】2019年度秋季さがみアカデミー受講申込書

希望講座名 ※複数可	
(ふりがな)	
氏名	
住所	〒
電話	
携帯電話*	
FAX番号*	
Eメール*	
本学学生の方はご記入下さい(記入例：高等部2年生)	※受付担当者使用欄
さがみ学びの会の会員の方は会員番号をご記入下さい* No. _____	

*お持ちの方のみご記入下さい。